

【求める15歳の姿】
 受け入れ合い
 支え合い
 高め合う生徒
 ~互いの考えや意見を尊重
 した発言・意見を通して~

鷺 中



TEL86-7950 fax86-7961

発行責任者：校長 鈴木 恭 朗

躍動の体育大会無事終了(7/12) 今年も多くのドラマが生まれました

自宅のある苫小牧市を出発する時点で結構強い雨脚。「これはどうかな」と自問自答しながら白老、登別と近づくにつれ、雨脚が弱まるものの5時の段階で強い霧雨。教頭先生、保体部長の■■■■先生と3人で天気予報や雨雲レーダーを見ながら、「8月に体育大会を延期すると体力的にはつらくなる」「2学期が始まり学校祭モードの中、体育大会をやるのはモチベーションの面でどうか?」「雨雲レーダーではさほどの降水量ではない」など相談しながら、最終的には体育大会実施の決断を下しました。

開会式を省略し、スタンドで座る生徒に校長の挨拶を行いました。競技の途中、小雨が降る時間帯もありましたが、それもすぐに止み、結果的にはけが人を出すこともなく、すべての競技を無事終えることができました。スタンドで温かい拍手をしていただいた保護者の皆様、PTA広報担当で、競技中の選手を撮影して下さった保護者の皆様、本当にありがとうございました。よい雰囲気での競技を進めることができました。

大会記録が更新されました!

2年女子100m

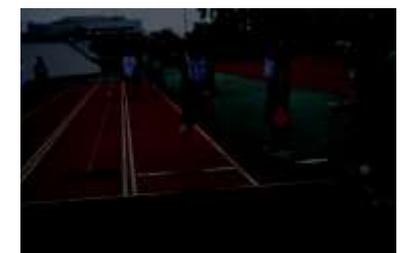
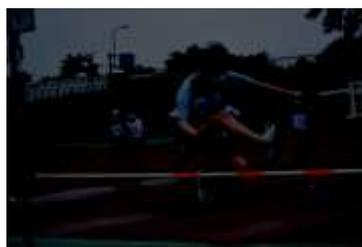
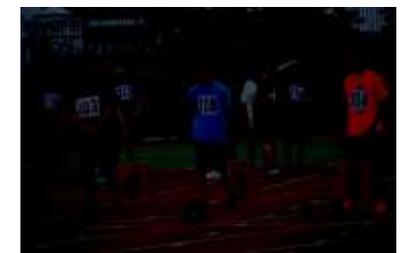
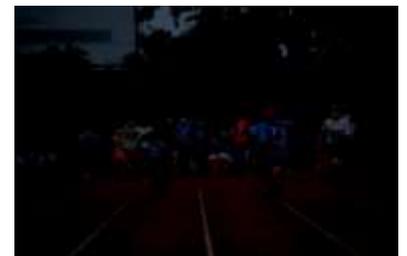
■■■■さん 14秒0

3年男子選抜リレー100m×4

3組 49秒4

1組 49秒5

実は2組も51秒台の好記録です。
 今年の3年生男子選抜リレーはレベルの高い戦いでした。



P T A 研修厚生部主催 陶芸教室7/10

緑町の健千窯（津村さん夫婦で経営）を会場にしてP T A陶芸教室を実施しました。中学生3名、小学生1名を含む13名が参加して、マグカップ、小鉢、大皿づくりなどに挑戦しました。

まず初めに講師の津村さん夫婦から白土と赤土の違いの説明を受けてから、粘土に付ける水の量などに気遣いながら、丁寧な手つきで作業を進めました。

マグカップや湯呑は手動のろくろを回しながら、形を整えていきます。この日初めてろくろを回す参加者もいましたが、時間が経つにつれて慣れた手つきで作業していました。

このあと乾燥させたのち、津村先生に色を付けていただき、窯焼きを行い完成です。



スクールカウンセラー特別授業(3年) ストレスとうまく付き合う7/14

登別市小中学校のスクールカウンセラー尾野 裕子さんを招き、本格的な受験勉強が始まる3年生を対象とした特別授業を行いました。

まずは、ストレスには「良いストレス」もあることを知ってほしいと思います。自分が成長するためには、やや高めハードルや苦言を乗り越えなければなりません。

しかし、身体やメンタルに長期間悪い影響を及ぼしたり、押しつぶされそうになったりするようなストレスは軽減する必要があります。その軽減方法として、

①休みをとる（睡眠や入浴）

②体を動かす（リラクゼーション）

③自由時間を楽しむ（趣味や余暇）

④人に相談する、雑談する（結構有効）

※人に相談するときは、3人に相談してみましよう。また、雑談するだけで、気分がスッキリすることもあります。

この日は、ストレッチや複式呼吸も教えていただきました。

なお、2学期初旬には、1年生を対象とした「SOSの出し方」、2年生を対象とした「自分自身を見つめ気持ちを楽にして生きる」の授業を尾野スクールカウンセラーに行っていただく予定です。

